

市川市名作映画鑑賞会

2016年3月5日(土)～6日(日)

市川市生涯学習センター2階 グリーンスタジオ(文学ミュージアム内)

3月5日(土) 10:30～「浪華悲歌」 13:00～「稲妻」
15:00～「愛の讃歌」

3月6日(日) 10:30～「華岡青洲の妻」 13:30～「あらくれ」

各回先着220名（各45分前から整理券発行 開場は30分前） 各100円

監督と女優との宿命的な出会いによって生み出された名作と、
成瀬巳喜男監督「あらくれ」をお届けします

浪華悲歌 [1936年 第一映画]



稲妻 [1952年 大映(東京)]



愛の讃歌 [1967年 松竹]



華岡青洲の妻 [1967年 大映(京都)]



あらくれ [1957年 東宝]



©1957 東宝

主催 市川市優秀映画鑑賞推進事業実行委員会／
(公財)市川市文化振興財団／文化庁／
東京国立近代美術館フィルムセンター

共催 市川市

協賛 松竹ブロードキャスティング株式会社

協力 水木洋子市民サポーターの会／株式会社オーエムシー

問い合わせ



市川市文学ミュージアム

Ichikawa City Museum of Literature

〒272-0015 千葉県市川市鬼高 1-1-4 生涯学習センター2階
TEL: 047-320-3334 FAX: 047-320-3356 (月曜休館)

市川市名作映画鑑賞会は、脚本家水木洋子の著作権料を活用して実施しています。水木は1950年～60年代の日本映画黄金時代に、「浮雲」や「ひめゆりの塔」などの多くの名作映画の脚本を手がけ、死後はその財産等を市川市へ寄贈しました。今回は、監督と女優との宿命的な出会いによって生み出された名作と、水木洋子脚本・成瀬巳喜男監督の「あらくれ」を上映します。

「浪華悲歌」 3月5日(土) 10:30～(72分)

男たちによって転落していく主人公の姿を冷やかな視線で捉えた溝口健二の演出と、その厳しい演技要求に応えた山田五十鈴。「祇園の姉妹」と合わせて二人の代表作となった。「キネマ旬報」ベストテン第3位。

1936年 第一映画 原作：溝口健二
脚本：依田義賢 監督：溝口健二
出演：山田五十鈴 梅村蓉子 大久保清子

「華岡青洲の妻」 3月6日(日) 10:30～(99分)

有吉佐和子の同名原作を、新藤兼人の脚本を得て増村保造が映画化した作品。増村はこの映画化に熱心で、企画会議で永田雅一社長に訴えて製作許可を得た。「キネマ旬報」ベストテン第5位。

1967年 大映(京都) 原作：有吉佐和子
脚本：新藤兼人 監督：増村保造
出演：市川雷蔵 若尾文子 高峰秀子

「稲妻」 3月5日(土) 13:00～(87分)

成瀬巳喜男は戦前の松竹時代から林芙美子作品に関心を抱いており、この作品は『めし』(1951)に続き映画化された。「キネマ旬報」ベストテン第2位。

1952年 大映(東京) 原作：林芙美子
脚本：田中澄江 監督：成瀬巳喜男
出演：高峰秀子 三浦光子 香川京子

「あらくれ」 3月6日(日) 13:30～(121分)

徳田秋聲による同名小説の映画化。「浮雲」の布陣で制作されたが、成瀬の作品には珍しい勝気で感情的なヒロインを高峰が演じている。

1957年 東宝 原作：徳田秋聲
脚本：水木洋子 監督：成瀬巳喜男
出演：高峰秀子 森雅之 加東大介

「愛の讃歌」 3月5日(土) 15:00～(94分)

フランスの劇作家、マルセル・パニョールの「ファニー」を翻案した作品。平凡な恋、平凡な人の営みのなかにこそ、本当の喜びや悲しみがある——。そこには、山田洋次監督らしい姿勢が一貫している。

1967年 松竹 原作：M・パニョール
脚本・監督：山田洋次
出演：倍賞千恵子 中山仁 渡辺篤

文学ミュージアム企画展

市川市・葛飾区文化交流事業

「山田洋次×井上ひさし展」

2015年11月21日(土)～2016年2月14日(日)

山田洋次と井上ひさし、互いに敬意を寄せた二人の企画展です。

市川市文学サポーター協働展

「本を彩った画家たち

—市川市文学ミュージアム収蔵資料を中心に—」

2016年2月27日(土)～4月10日(日)

画家たちが彩った近現代の文学作品を紹介します。



アクセス

文学ミュージアム：
JR本八幡駅徒歩15分
京成鬼越駅徒歩10分
都営新宿線
本八幡駅徒歩20分

水木洋子邸：
JR・都営新宿線
本八幡駅徒歩15分
京成八幡駅徒歩10分

脚本家／水木洋子邸公開

「追悼 原節子

水木洋子脚本の『山の音』『驟雨』」

公開日 毎月第二・第四土曜日・日曜日

但し1月は23日(土)24日(日)、2月は27日(土)28日(日)のみ

公開時間 10:00～16:00

●イベント

1月21日(木) 11:00～12:00

水木邸着物の寒干し 天候により変更あり

2月27日(土) 14:00～15:00 (文学ミュージアムまで要申込)

手描き染めによる雑絵の絵付けと手作り雑たち

定員：15名 材料費：500円